

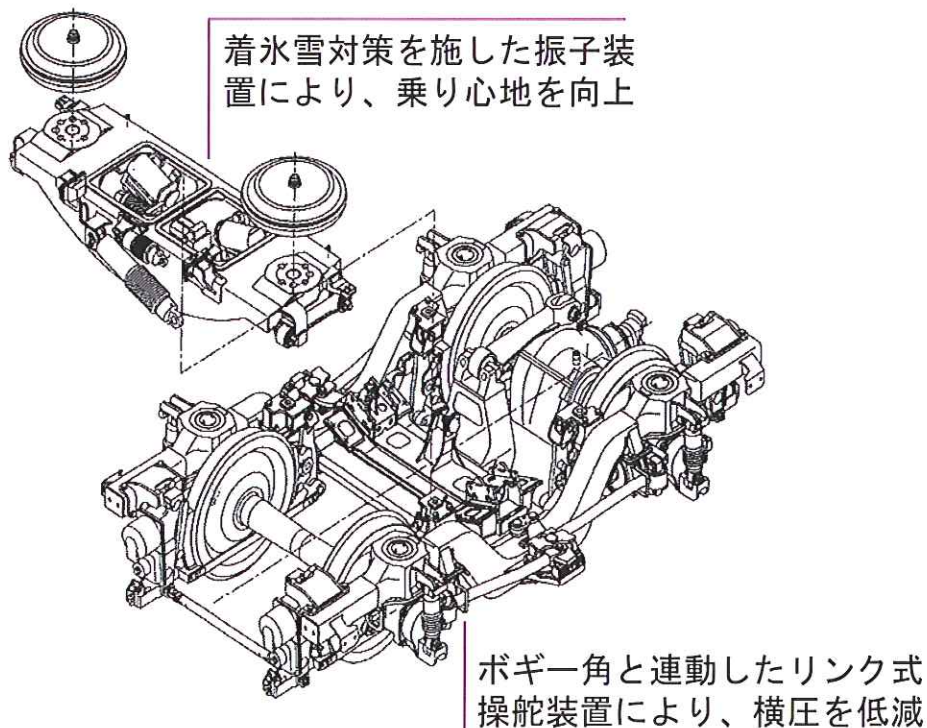
操舵付き振り台車

【概要】

札幌～釧路間の高速化を図るため、制御付き振り子とボギー角連動リンク式操舵を装備した台車をJR北海道と共同で開発しました。この台車を取り付けた車両の投入により、それまでの所要時間を大幅に短縮しました。

【特徴】

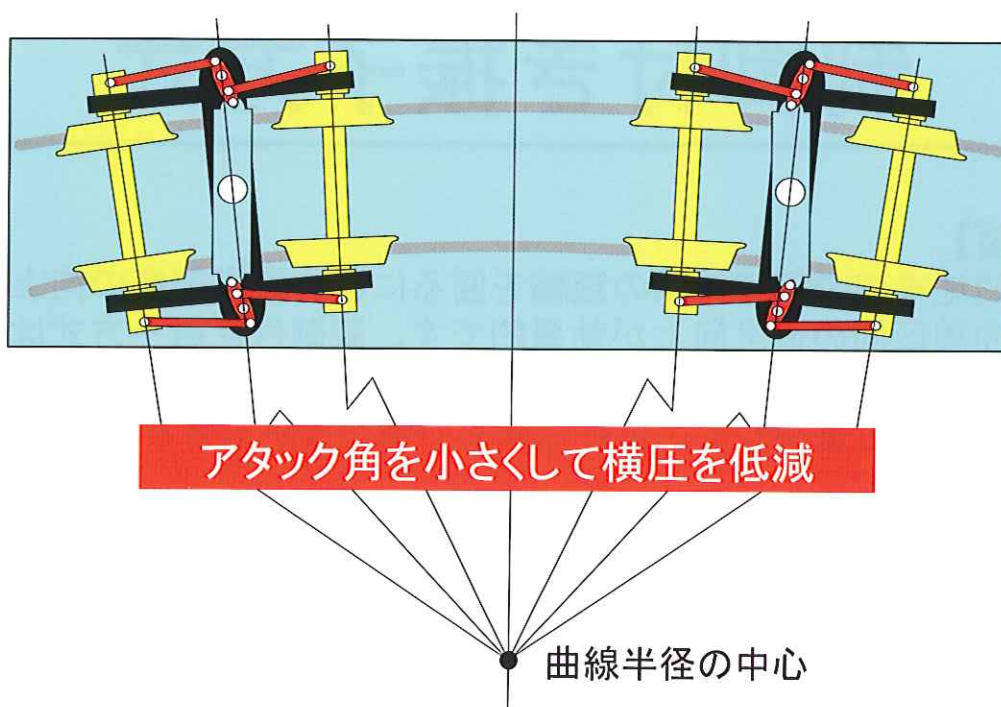
ボギー角と輪軸前後変位を連動したリンク式操舵方式の採用により、曲線区間の横圧が従来台車の1/2～1/3に減少しました。また、新たに開発した5条溝タイプのベアリングガイド式振り子機構や振り子制御シリンダなどの振り子機器は、振り子梁内部に構成して着氷雪対策を図りました。



操舵装置と振り子機構を兼ね備えた台車により、曲線区間の横圧低減と乗り心地の向上を図ります。

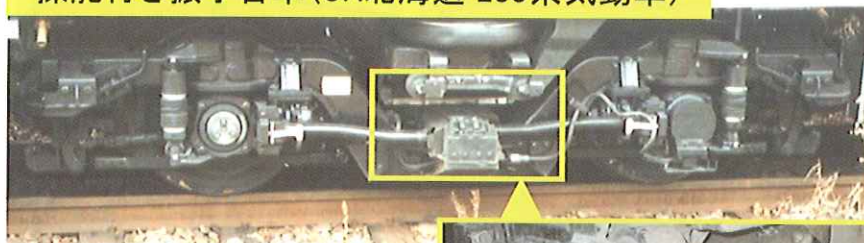
【用途】

曲線区間の速度向上において、横圧低減と乗り心地の確保が図れます。



曲線走行時に輪軸を曲線半径の中心に向けることにより、レールとのアタック角を小さくして横圧を低減します。

操舵付き振り子台車 (JR北海道 283系気動車)



- (上) 着氷雪対策を施した台車
- (右) 操舵用のリンクとてこ



特許3394151号、特開平10-203364

【実施例】

JR北海道283系気動車で利用されています。